

令和 8 年 9 月 7 日



大型クラゲ情報(令和 8 年度第 5 号)

概要

- 9 月 1 日から漁期の始まった県内小型底びき網において、大型クラゲの入網がありました。対馬近辺で操業している沖合底びき網にも、まとまった数の入網が続いています。現在、大型クラゲは主として中層以深に分布していると考えられるため、底びき網やまき網は特に注意してください。。
- 定置網への入網は現状では散発的で数も少ないですが、海水温の低下や台風等の影響により突然増加する可能性があります。
- また、大型の個体（傘径 80cm）も確認されていますので、ご注意ください。

本県の出現状況（9 月 4 日現在）

- 9 月 1 日から県内小型底びき網の漁期が始まりましたが、同時に大型クラゲの入網も確認されています。場所は大田沖から益田沖にかけて、数は 30 個体/網（傘径 30cm）でした。
- 9 月 2 日には、大社沖でも小型底びき網に大型クラゲの入網がありました。数は数個体程度でしたが、傘径は 80cm と比較的大型でした。
- 8 月 27 日～9 月 3 日にかけて、県内各地の定置網に、散発的に入網がありました。数は多くて数個体程度でした。傘径は 30～50cm 程度の個体が多いですが、大社では 80cm の比較的大型の個体が入網しています。
- 8 月 22 日頃～25 日にかけて、海士町豊田地先で、一本釣漁業者が 10～30 個体（傘径 30～40cm）の大型クラゲを確認しました。今期、海面で確認された数としては最も多いものです。

対馬周辺における本県沖底の入網状況（9 月 3 日現在）

浜田を根拠地とする沖合底びき網から、まとまった数の大型クラゲの入網が報告されています。

場所は対馬北東から EEZ に至る海域や対馬周辺の海域で、200 個体/網、または数は不明ながら大量の大型クラゲが入網しました。大きさは傘径 50～100cm 程度で、特に EEZ に近い海域では大型（傘径 70～100cm）の個体が入網しています。

漁業情報サービスセンター（JAFIC）からの情報提供（9 月 4 日現在）

- 対馬～能登の広範囲で、底びき網、定置網に入網があります。特に底びき網は、場所により大量入網が確認されています。対馬～能登の全域で警戒してください。特に沖合操業の船は注意してください。表層に見えなくても底層に大量に分布している場合があります。
- 9 月 1 日～3 日にかけて、山口県角島沖で沖底に 2～10 個体/網程度の入網がありました。傘径は

40～100cm と、大型の個体が混じっています。

- 8月17日～30日にかけて、山口県長門市沖で小底に2～3個体/網程度の入網がありました（傘径50～70cm）。また、8月20日には^{ひつしま}櫃島沖（山口県萩市の沖合）で中型まき網に10個体/網の入網がありました（傘径30～40cm）。

※詳細は漁業情報サービスセンターHP（<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>）を参照ください

水産研究・教育機構によるフェリーを利用した大型クラゲ目視観測（9月1日現在）

- 9月1日に行われた最新の調査では、西水道で2個体確認されました。傘径は20～30cmです。

※詳細は水産研究・教育機構 HP（https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/）を参照ください

-
- 大型クラゲの情報公開ページ（水産研究・教育機構）

https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage_archive.html

大型クラゲ対策のための底びき網や定置網の漁具改良マニュアル等、大型クラゲに関する情報が公開されています。
ご参考ください。

- 大型クラゲを発見された方は、最寄りの地区の農林水産振興センターの水産業普及員か、下の発信者連絡先までお知らせください。

【発信者】島根県水産技術センター 海洋資源科 担当：石原 TEL: 0855-23-4806 FAX: 0855-23-2079 Email: suigi@pref.shimane.lg.jp
--